

# ひろか だより

第402号

令和8年1月1日

発行



弘果 弘前中央青果株式会社

津軽の「うまい」がここにある



## 謹賀新年



## 新春を迎えて

弘果 弘前中央青果株式会社

代表取締役社長  
葛西 静男

令和8年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶びを申し上げます。また、平素は弘果ならびにグループ各社に對しまして、格別のお引き立て、ご厚情をいただきありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

令和7年を振り返りますと、この年の世相を表す漢字1位が「熊」、2位が「米」、3位が「高」となり、全国的な熊の出没や被害が相次いだことや、コメの価格高騰による「令和の米騒動」、米国のトランプ大統領就任、初の女性首相となった高市早苗氏の総理大臣就任、酷暑による高気温、長期化する物価高等、多岐に渡るニュースが取り沙汰された一年でした。そして、混迷を極める国際情勢は予断を許さず、政治経済的、社会的な状況の変化は国内外に大きな影響を及ぼし、決して楽観視できません。

農作物の生産、流通においては、大雪、春先の低温、夏場の高温等の気象的要因により、品質や収穫量に大きな影響を及ぼし、消費動向、価格等が大きく変動しました。当社取扱いの青果物におきましても、品目により需給バランスの加減から、産地と消費地双方の機能を持つ市場として、入出荷面で各所の期待に沿えるように対応した一年となりました。また、主力品目であるりんごは、大雪による枝折れ等の被害、干ばつの影響から全体的な小玉傾向、9月の暴風による落果や樹上被害、害虫（ナシマルカイガラムシ・カメムシ）に

よる被害果も多く、鳥、熊による被害等が生産面に大きな影響を及ぼした結果、入荷量は前年を下回りました。しかし、他県産りんごも高温による品質の低下や、着色不良の影響で出荷が遅れたことから、青森県産りんごへの期待が高まり、早生種から国内での引き合いが強くなりました。また、大玉や良品物の入荷が少なく全体的に品薄感があり、業者の長期貯蔵用の本格的な仕入れや輸出需要の高まりから、上流から下位等級品まで堅調な取引となりました。

現在は、社会環境、経済、国際情勢等、あらゆる面で変化が加速度的に増しております。当社においても、青果物流通の変革や未来に向けて進んでいかなければなりません。令和8年を迎え、創業の理念を説いた社歌である「弘果の歌」の一節から、これまでに積み重ねてきた「広域と組織の力」を発展させ、「心ひとつの弘果」の「精神（こころ）」で、「幸福をきずく使命」の重責を肝に銘じ、「繁栄の時代は進む」ことを確信し、これまで築き上げてきた歴史を更に重ねてまいります。また、会社指針にある通り、地域に對し誠実に奉仕し、創意工夫して難題を乗り越え、未来に向けて改革挑戦することで、「地域と共に歩む企業」として、生産者、買参人、消費者をつなぎ、農作物の生産と流通を通して、産業、経済の活性化を図り、地域の発展により一層貢献していく所存であります。つきましては倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

弘果 弘前中央青果(株)

(株) 津軽りんご市場

(株) 弘前水産地方卸売市場

(株) 弘前丸魚

(株) 弘果物流

(株) スコーレ

弘果総合研究開発(株)

弘果りんご園(株)

弘果総合食品卸売組合  
会長 山田 明宏

弘果青果仲卸組合  
会長 中山 慎

弘果 弘 青 会  
会長 葛原 和典

弘果地場やさい連絡協議会  
会長 相馬 義彦

弘果 弘 栄 会  
会長 尾崎 和彦

弘果花き連絡協議会  
会長 高杉 成春

弘果りんご買参人共進会  
会長 葛西 万博

弘果りんご買参人共進会青年部  
部長 鳴海 雅之

弘果りんご連絡協議会  
会長 須藤 恵司

弘果りんご連絡協議会青年部  
部長 福士 すみえ

青森オレンジマルシェ生産連絡協議会  
会長 渋谷 充

青森オレンジマルシェ生産連絡協議会青年部  
部長 吉田 匡克

津軽りんご市場隣峰会  
会長 竹谷 保

津軽りんご市場連絡協議会  
会長 小関 清隆

津軽りんご市場連絡協議会女性部  
部長 木村 イク子

津軽りんご市場連絡協議会青年部  
部長 村山 誠也

弘前水産仲卸組合  
理事長 山内 伸和

弘前水産冷蔵協同組合  
代表理事 小野 貴志

# 令和8年を迎えて

弘果グループ関連の生産者団体の会長に昨年を振り返ってもらい、業界を取り巻く情勢を踏まえ、令和8年に向けた取り組みについて展望していただきました。

## 弘果りんご連絡協議会

須藤 恵司 会長



令和7年は、青森県にりんごの樹が植栽され150年の節目を迎えた記念すべき年でした。祝賀ムードが漂う年ではありましたが、生産面から振り返ると、大雪による園地の雪害、干ばつの影響による小玉傾向、9月の暴風による落果や樹上被害、害虫(ナシマルカイガラムシ・カメムシ)による被害、同年の世相を反映する漢字にも選ばれた「熊」や鳥による被害等

## 津軽りんご市場連絡協議会

小関 清隆 会長



去年は、青森県りんご植栽150周年を迎えた記念の年でした。今ではりんご産業は、青森県の大産業となり、幾多の自然災害や景気の低迷で苦境に立たされながらも、りんご産業をけん引してこれら

が、収量、品質に大きく影響しました。りんご植栽から150年、この間幾多の危機的状況に遭遇しましたが、先人達の英知を継ぎ、努力により克服してきた歴史が物語るように生産現場では、影響を最小限に抑えるため栽培管理を徹底し、品質、食味の向上に努めた結果、弘果ならびに買参人の皆様のおかげをも

私達りんご生産者も、青森県りんご産業界を形成する一員として、現在、未来を考えていく必要があります。りんご産業界において、生産者は「血液」、買参人は「血管」、弘果は「心臓」という身体の機能や、楽器の「トリアングル」に例えられることがありま

た先達の偉業に敬意を表す次第でございます。また、生産面においては、気象的要因による干ばつ、高温、暴風等から、生育、品質に大きな影響を及ぼし、害虫被害や鳥獣害も多く、全体的に収量が減

ちまして堅調に取引され、我々生産者としても感謝している次第です。そして、青森県りんご産業界の底力が発揮されたと言っても過言ではない1年となりました。

り、下位等級品の割合が多くなりました。市場では、りんごの収量減と、他の産地の動向及び海外需要等を背景に、下位等級品も含めて良い価格で取引されました。会員並びに津軽りんご市場へ出荷している皆様におかれましては、各種対応に苦

り、下位等級品の割合が多くなりました。市場では、りんごの収量減と、他の産地の動向及び海外需要等を背景に、下位等級品も含めて良い価格で取引されました。会員並びに津軽りんご市場へ出荷している皆様におかれましては、各種対応に苦

## 青森オ리지ナルメロン生産連絡協議会

渋谷 充 会長



令和7年のメロンの生産状況を振り返りますと、春から気温も高く、雪解け水や降雨

肥大が進みすぎ、裂果やネットの入りが悪くないものが増えたりしました。総じて後半の作型は大玉傾向となりました。現在、メロン生産現場も異常気象、気候変動の影響を大いに受けていると言っても過言ではありません。また、止まらない生産コストの上昇や、各種病害への対応等、予断を許さない状況です。特に、生産管理、作業面においての高温対策が、品質の高さを維持、向上させていく上で喫緊の課題となります。全国

## 午年文字絵りんご



## 弘果花き連絡協議会

高杉 成春 会長



当協議会の存続に関する課題として、各種物価高による生産コストの増加、高齢化や採算が合わない等の要因と、元々花き専業農家が少なくなることや、廃業、栽培目的の転換等により生産者、生産量が減少している

独自の対策を検証したいと考えています。令和8年に向け私達メロン生産者は、「つがりあんメロン」をはじめとする、美味しく高品質なメロン生産及び、後継者育成事業やメロン栽培の魅力、将来性をアピールし、付面積、栽培者増加に向けて取り組み、地域産業の継続、発展に努めて参ります。

現状があります。また、地域の花き生産現場が抱える諸問題が山積している中でも、冠婚葬祭等の業務需要が規模縮小ながら回復してきている明るい兆しもあり、状況の好転も期待されます。令和8年に向けて、旧弘前花きのキャッチフレーズ「お花は心のビタミンです」や、弘果花き部が掲げる「お花いっぱい

## 弘果地場やさい連絡協議会

相馬 義彦 会長



去年は、低温、干ばつ、高温等の影響から、栽培管理が

性の問題から、栽培計画の変更を余儀なくされた方もいました。我々が安定した農業経営を続けるためには、安定した需給バランスと価格が保たれることが重要となりますが、近年は全国的な異常気象の影響で、野菜の生産量、価格が大きく上下する状況が続いています。栽培管理や品種構成を工夫することで天候、販売のリスクを分散していく等、これからの向けて様々な方法を考えていかなければなりません。

運営、意志決定に反映させ、弘果並びに買参人と情報交換をより密にしていきたいと考えています。そして、会員への有益な情報提供と消費者のニーズに合わせた生産についての意見交換を行い、地物野菜の生産、消費拡大、活性化に向けて積極的に活動いたします。

# 毎年恒例新春特別企画 「午年」生まれに3つの質問



- ①…昨年はおなたにとってどんな年でしたか。
- ②…今年の抱負・決意をお聞かせ下さい。
- ③…「午(馬)」でどんなことを連想しますか。

①：毎日がりんど園と家の往復で非常に忙しい1年でした。仕事面では、鳥獣害や天候などの影響から大変な局面も多くありました。が、プライベートでは私の「推し」である、三沢出身のバンドSWALLOW(スワロー)のライブにも行くことができ、公私ともに充実した1年であったと思います。



きょうみ  
**水木 京美さん**  
高原畑地出荷組合  
(弘前市小友)  
昭和41年生まれ

①：数年前から実質的に第一線から退いている身として、会社のかじ取りを息子である現社長に任せているので、より一層の社業の発展に期待しています。そして、ライフワークであるウエイトリフティング競技では、東



ひろし  
**野呂 洋さん**  
株式会社山祐野呂商店  
(藤崎町藤崎)  
昭和17年生まれ

②：今年も高品質生産を心掛けつつ、去年よりりんごの数量を増やすことを目標に日々の仕事に励みたいですね。また今年もロンドンへの旅行を計画しており、最近はずアールや観光スポットに関して情報収集をしています。今年は還暦という人生の大きな節目を迎えますが、よりアクティブに楽しんでいきたいと思っています。



かつとし  
**長尾 勝利さん**  
ひがしの会  
(弘前市福田)  
昭和53年生まれ

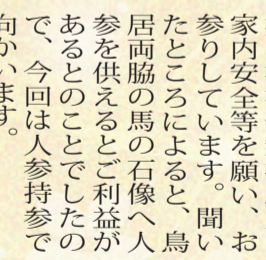
②：全日本マスターズ選手権に向け、練習に励んでいます。無論第1位を目指しています。が、この歳になると、毎回大会で顔を合わす

参加者が「戦友」のように感じられ、より良い記録を残せるように切磋琢磨しています。また、毎年のことですが、子供や孫たちが元気でいてくれることが、この上ない喜びです。

③：「丙午(ひのえうま)」私が生まれた昭和41年と今年令和8年の干支です。丙午の年に生まれた女性については、「気性が激しく、夫に災いをもたらす」といった言い伝えがあることから、その年の出生数が激減しました。その影響で、昔は馬に対してあまり良いイメージを持っていませんでしたが、近年は前向きに語られることも増えています。

③：「午年に馬肉は食べない」馬肉料理が大好きで良く食しますが、私が午年ということもあり、午年が良い年でありますようにとの願掛けの意味を込めて、一切馬肉を口にしないことを決めています。

①：冬は大雪に見舞われハウスの維持保全に努め、夏は記録・記憶に残る高温により、メインの栽培品目であるホウレン草の栽培計画変更を余儀なくされた、思うようにいかなかった1年でした。しかし結果的には、ホウレン草をはじめインゲン等、栽培した品目が概ね順調な栽培、出荷となり、正直ホッとしました。



まさと  
**千葉 正人さん**  
榎木アップル会  
(弘前市榎木)  
昭和53年生まれ

①：大雪による枝折れ等の雪害やネズミによる樹の食害、干ばつの影響による小玉傾向、暴風による落果、害虫被害、鳥獣害等、あらゆる「被害」的な状況が、りんごの品質、収量に大きな影響を及ぼし、決して良い1年とは言えない年でした。

①：大雪による枝折れ等の雪害やネズミによる樹の食害、干ばつの影響による小玉傾向、暴風による落果、害虫被害、鳥獣害等、あらゆる「被害」的な状況が、りんごの品質、収量に大きな影響を及ぼし、決して良い1年とは言えない年でした。

②：令和8年は大きな災害がなく天候が安定することを切に願っています。そして、1年を通して新鮮で魅力あふれる農作物の安定生産・出荷に励み、地場やさいを生産面から盛り上げていきたいです。また、趣味のゴルフでは、スコア100切りを目指していきます。

②：取材を受けた当日が青年部の忘年会というこ

ともあり、令和8年に向けて、生産者団体及び弘果や買参人団体との情報交換や交流を積極的に行い、お互いの信頼が向上することで、りんご産業の更なる活性化に向けて取り組む1年としていきたいです。

③：「神の乗り物」古来より馬は神様の乗り物とされ、福を運ぶ存在とされています。神社には馬の絵の「絵馬」が残っており、現代でも願い事や福を運んでいきます。自分の干支である「馬・午」にあまり「絵馬に願い事を書いてみようか」と思っています。もしかしたら叶うかも…



ひかる  
**桜田 光さん**  
黒石ゴールドの会  
(黒石市南中野)  
平成14年生まれ

③：「津軽一代様」午年なので、黒石市の白姫神社へ無病息災と家内安全等を願い、お参りしています。聞いたところによると、鳥居面脇の馬の石像へ人參を供えることと利益があるとのことでしたので、今回は人參持参で向かいます。

①：黒石市で「日常に『華』(花)のある暮らしを提供したい」という思いから、花屋を営んでいます。令和7年も、生花アレンジメント、鉢物、冠婚葬祭、そして花き類のメンテナンスまで、「花のことなら何でもお任せください」をモットーに、お客様の暮らしに「華」を添えて、咲かせたいと思う1年でした。

①：黒石市で「日常に『華』(花)のある暮らしを提供したい」という思いから、花屋を営んでいます。令和7年も、生花アレンジメント、鉢物、冠婚葬祭、そして花き類のメンテナンスまで、「花のことなら何でもお任せください」をモットーに、お客様の暮らしに「華」を添えて、咲かせたいと思う1年でした。

②：本格的に就農してから数年、経営基盤をしっかりと固めることが重要だと考えて進んできました。労働力、畑の面積や特性、反収等を念頭に置き、栽培品目を構成する等、将来的な規模拡大に向けて、「勢い」や「前進」

②：「万事ウマくいく」「飛躍」「前進」「活力」等の前向きな言葉を意識して、来店されるお客様の「花」へ求めている想い、願いを背に

③：「ペガサス流星拳」乗せて、一緒に駆け抜けていく1年にしていきたいです。

③：「ペガサス流星拳」乗せて、一緒に駆け抜けていく1年にしていきたいです。

を象徴するとも言われる午年だからこそ、更に飛躍する1年としていきたいです。

③：「津軽のうまいがここにあり」干支や馬と何ら関係がありませんが、「うま」という音の響きだけで、色々なところで見かける弘果が掲げるキャッチコピーが思い浮かびました。弘果オリジナルブランドの品目を生産しているの、今後ともよろしくお願ひいたします。

こうき  
**佐藤 后紀さん**  
Azul Floresta  
(アズールフロリスタ)  
(黒石市北美町)  
昭和53年生まれ

# 永年勤続優良社員表彰式



当社の永年勤続優良社員表彰式が12月20日、弘前市のアートホテル弘前シティにおいて行われました。

- 【40年表彰】佐藤 稔(そ菜部)
- 【30年表彰】白戸正孝(果実部)、深堀耐二(花き部)、後藤 聡(りんご部)、堺 伸行(そ菜部)、猪股江美子(そ菜部)、森佳緒利(弘果物流)、一戸千佳子(津軽りんご市場)
- 【20年表彰】山内洋一(弘果物流)、藤田祐樹(精算部)、工藤勇介(弘果りんご園)、西塚 勲(果実部)、増田和樹(弘果物流)、水木一宏(花き部)、小川絵梨子(総務部)、成田由佳(総務部)
- 【10年表彰】竹内祐也(弘果総合研究開発)、対馬佳奈(弘果物流、竹内紗莉菜弘果物流)



Hiroka R&D Inc. 弘果総合研究開発(株)

## 経営モデル園



反収が増加した経営モデル園にて収穫に励む研修生

弘果総合研究開発では、作業の効率化や早期多収が期待される「りんご高密植

栽培」の経営モデル園において、令和5年より順次定植を行っており、現在、3畝のりんご園地およびシャインマスカットやイチジクを栽培するハウス4棟を管理しています。高

栽培手法として注目されています。また、新規就農者を目指す研修生を毎年2名ずつ受け入れ、2年間の研修後、研修生自身が栽培・管理してきた園地50畝を引き継ぎ、独立就農する事業も実施しています。研修期間中は、栽培技術の習得に加え、経営管理や作業計画の立案など、就農後を見据えた実践的な研修を行っています。現在は4名の研修生が日々研修に励んでいます。

## 定植3年目で1.2ト研修生が収穫

このうち、令和5年に定植した60畝については、11月7日にサンふじを収穫し、今年産りんごの収穫を終えました。今年度の収量は、着果初

年度であった昨年の2倍となる反収1.2トとなり、一定の成果が確認されました。収穫作業から選果、出荷に至るまでの工程は、4名の研修生が総研社員の指導のもと一貫して担当し、実務経験を積みま

した。品種別では、「つがる」などの早生種は小玉が多かったものの、サンふじ、シナノスイート、シナノゴールドについては着色や品質の良い果実が多く、安定した生産につながりました。今後は、定植5年目となる2年後



弘果総合研究開発 QR

弘果総研

0172-29-4184

### 弘果トレサビセンター 営業時間変更のお知らせ

【期間】1月5日(月)～2月28日(土)

【時間】午前8時～午後4時

【休業日】市場休市日 (弘果カレンダー参照)



### コンフューザーR 産地一丸となって設置しましょう

交信攪乱剤コンフューザーRは、青森県りんご病害虫防除層に基準薬剤として採用されています。殺虫剤の登録失効により使用薬剤が少なくなっている中、同じ薬剤を繰り返し使用する

ことによるハマキムシ類の殺虫剤に対する抵抗性の高まりなど、薬剤の効果低下や、夏場の高温など温暖化の影響によるシ

ンクイムシ類の被害拡大が懸念され、コンフューザーRを使用し害虫の絶対数を減少させることが非常に重要になっていきます。また、主要輸出先である台湾では、モモンカイガの混入が発覚した場合、青森県産りんごの輸入は停止されます。弘果総合研究開発では2011年からコンフューザーRを使用している園地と使用していない対象園地にそれぞれトラップを設置し、害虫の捕獲数調査を行っており、コンフューザーRを使用している園地の方が明らかに害虫の発生が少ないことが実証されています。弘果と津軽りんご市場では、令和7年産りんごの販売からコンフューザーRを設置している園地で収穫されたりんごには「コンフューザーR設置」と印刷された出荷票が使用されました。コンフューザーRは、地域ぐるみで設置するなど、広範囲で使用の方がより効果的です。令和8年産は生産者全員でコンフューザーRの設置に取り組み、産地一体となって青森県産りんごを害虫被害から守りましょう。

## りんご展示会受賞団体決定

- 弘果及び津軽りんご市場のりんご生産者団体が主催するりんご展示会が各会場で行われました。りんご展示会の各賞は次の通りです。
- ▼弘果りんご連絡協議会
    - 【無袋ふじの部】(出品点数26)
      - 第1位……藤松会 齊藤 芳治氏
      - 第2位……小栗山りんご販売研究会 工藤 栄治氏
      - 第3位……一心会 山田 大輔氏
    - 【王林の部】(出品点数9)
      - 第1位……駒木出荷組合 吹田 正一氏
      - 第2位……林崎りんご販売研究会 中田 将司氏
      - 第3位……高原畑地出荷組合 荒川 裕一氏
  - ▼津軽りんご市場連絡協議会
    - 【無袋ふじの部】(出品点数7)
      - 金賞……西友会
      - 銀賞……松緑出荷組合
      - 銅賞……ダイヤモンド出荷組合
    - 【王林の部】(出品点数8)
      - 金賞……強巻出荷組合
      - 銀賞……西友会
      - 銅賞……松緑出荷組合
    - 【葉とらずふじの部】
      - 奨励賞……丸石出荷組合
    - 【津軽りんご市場社長賞】
      - 西友会
    - 【津軽りんご市場睡峰会会長賞】
      - 強巻出荷組合
      - ダイヤモンド出荷組合

## 令和8年開・休業日曆 各市場及び精算窓口で配布中

2026 令和8年 弘果開・休業日曆		2026 令和8年 津軽市場開・休業日曆	
1	2	1	2
3	4	3	4
5	6	5	6
7	8	7	8
9	10	9	10
11	12	11	12
13	14	13	14
15	16	15	16
17	18	17	18
19	20	19	20
21	22	21	22
23	24	23	24
25	26	25	26
27	28	27	28
29	30	29	30
31		31	

りんご無冷蔵品早期出荷のお願い

弘果りんご部、津軽りんご市場では、令和8年初市後から「冷蔵品」「無冷蔵品」を区分けして販売します。消費者の皆様へ鮮度の良いりんごをお届けするため、特に無冷蔵品は、早めの出荷をお願いいたします。

- ▼津軽りんご市場連絡協議会
  - 【無袋ふじの部】(出品点数2)
    - 金賞……松緑出荷組合 三浦 真紀子氏
  - 【王林の部】(出品点数6)
    - 金賞……西友会
    - 銀賞……ロイヤル出荷組合 木村 直美氏
    - 銅賞……松緑出荷組合 花田 勢津子氏
- ▼津軽りんご市場連絡協議会青年部
  - 【無袋ふじの部】(出品点数4)
    - 金賞……西友会
  - 【王林の部】(出品点数2)
    - 金賞……狐森かがやき出荷組合 村山 誠也氏

各社ホームページでも公開中

